

おとなのものづくり 身近な技術の体験塾

日時 2016年 1月9日(土)
13時00分～16時00分
場所 山形大学工学部
ものづくりセンター 創成支援室
参加者 学校教員、一般市民 8名
実習指導
佐竹忠昭(統括技術長)、村上 聡(副統括技術長)
佐藤 翼(機器分析技術室)、水沼 充(計測技術室)
大橋栄市、羽賀恵壽、田村恒一(地域連携担当)
荒木芳春(安全衛生・エネルギー管理)

本行事は、平成27年度山形大学の地域貢献推進のための取組事業の一環として、昨年に引き続き大人向けのものづくりとして、時間も3時間に拡張して企画、実施した。

今回は、身近過ぎて日常使っていることも認識していない人もいる自転車用発電機であるハブダイナモを活用して、手回し発電機を製作し、風力や水力発電への拡張に挑戦してもらおうとするものである。また、ダイナモの発電は、交流電圧であるため、直流に変換する回路も合わせて作製し、交流、全波整流、平滑電圧波形の観察もできるものとした。体験工作には、ボール盤での穴あけ、タップでのM4ネジ切り、帯鋸での切断、ビスのカットなどの作業を組み込み、回路製作ではハンダ付けも体験した。

定員は10名で、参加申し込みは8名だったが、見学参加者なども製作に加わり、準備した12セットはすべてなくなり、和気あいあい、



「マイクロ発電に挑戦してみませんか！」

おとなのものづくり

「身近な技術」の体験塾

マイクロ発電を体験してみませんか？

～ 自転車用ダイナモを活用した交流発電機や直流変換回路を製作し、自然エネルギーの利活用学習に応用しましょう ～

※ 製作した電子回路や部品は持ち帰って応用実験ができます。



山形大学 工学部



期日 平成28年 1月9日(土) 13:00～16:00
会場 山形大学工学部 ものづくりセンターA棟 創成支援室
対象 小中学校教員および一般市民
定員 10名
参加費 無料
申込先 技術部地域連携推進室
名前、性別、年齢、住所、電話番号を記入し、申し込み用紙を提出してください。
(問合せ電話番号 0235-261-2222)



主催 山形大学工学部



賑やかに進められた。結果、予定の時間を大幅に超過しての閉会となった。

これらの取り組みは、地域の人々に大学への理解をより深めてもらうために一定の効果があると思われる。また、ものづくり好きな大人を介して、子どもたちへの波及効果に期待したい。

本教室を開催するにあたり、学園都市推進協議会並びに米沢市教育委員会、米沢市理科研修センターのご支援、ご協力をいただきましたことに感謝いたします。